

アキメヒシバ (秋雌日芝)

名前の意味：秋に花が咲くメヒシバの意味。

分類：単子葉類、イネ科、メヒシバ属

(イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：数本の針金のような細かい花序の枝が斜め上に伸びる、小穂は粒状。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：2枚 (小さくて目で見てもよくわからない)、離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：9—11月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：メヒシバとは、小穂が丸くて小さいので区別できる。オヒシバは、花序の枝が平たくて、幅が広い。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)